

□第 26 回大津市中心市街地活性化協議会 議事録

日 時： 平成 26 年 7 月 24 日（木） 午後 3 時 00 分～午後 5 時 00 分

場 所： 旧大津公会堂 3 階ホール

参加者： 委 員 安孫子、石川、川端、福井、山本、村田、秋村、中井、井上（代理 澤）、
山口、片岡、池見、渡辺（代理 設楽）、磯田、福井、柴山、勝部、松崎
オブザーバー 松本（代理 岡田）、島田（代理 小川）
事務局 元田、伏木、村山
大津市 松澤、高見、北田
商工会議所 1 名
傍聴者 2 名

（順不同・敬称略）

（1）開会（まちづくり大津・事務局 元田）

（2）開会挨拶

大津市中心市街地活性化協議会 安孫子会長

（3）議題

1. 中心市街地活性化協議会の活動報告

・各プロジェクト会議における平成 26 年度の活動報告と今後の予定（資料 1～7）

2. その他

議題 1 中心市街地活性化協議会の活動報告について

7つのプロジェクトの活動報告と今後の予定について各プロジェクトリーダーより説明があった。

- ・ 湖岸エリア・アートプロジェクト会議・・・山口委員（資料 1）
- ・ 大津町家利活用プロジェクト会議・・・柴山委員（資料 2）
- ・ 大津まち遺産魅力発信プロジェクト会議・・・柴山委員（資料 3）
- ・ まちなかガイドプロジェクト会議・・・福井委員（資料 4）
- ・ 水空間デザインプロジェクト会議・・・秋村委員（資料 5）
- ・ 大津駅再生検討プロジェクト会議・・・松澤課長（資料 6）
- ・ 知縁のにぎわいづくりプロジェクト会議・・・秋村委員（資料 7）

（質問事項）

Q. 知縁のにぎわいづくりプロジェクト会議におけるまちかどサロンの整備とはどういうものをイメージしているのか？

A. まちかどサロンは仮称であるが、名前の通りまちかどにある拠点をイメージしている。知的なカテゴリーのエリアをつくり、にぎわいを創出したい。例えばラボ、モノづくりの拠点、アイデアを出すスペースである。県有財産の民間利活用として、具体的な場所の候補がいくつかあり、調査している最中。

Q. みーつ大津博について

長崎さるく博をお手本に、おもてなし、お出迎えを大津で行いたい。29年度、中心市街地活性化協議会最終目標として各プロジェクトがみーつ大津博のビジョンを共有する。そして各プロジェクトのスケジュールと最終到達点をそろえてはどうか。

A. この提案については、この場での調整は難しい。今後整理の作業を早急に行う。

次回の開催日程は、特に緊急の課題がなければ、来年の3月末に今年度の事業報告と来年度の事業計画（案）を合わせて審議する予定。

（4）閉会

以上